



児童家庭福祉

虐待による死亡事例のうち、0歳児の割合は約4割です。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援やアウトリーチなどを通じて、妊娠や子育ての不安、孤立などに対応し、児童虐待のリスクを早期に発見・対応することが求められています。区は虐待対応の第一義的な相談窓口であり、関係機関との連携・調整役となる子ども家庭支援センターの重要性は一層増しています。

本研修は、子ども家庭支援センター等に勤務する職員を対象として、児童虐待通告の初期調査や対応をはじめ、子ども家庭相談に関する基礎力と実践力を養う内容となっています。

日程

6月24日（木）、25日（金）【2日間】

ねらい

児童虐待を取り巻く情勢を理解し、子ども家庭福祉行政に携わる職員としての自覚や自信を持ちながら、児童虐待に的確に対応することができる実践的能力の向上を図る。

対象

子ども家庭支援センターを含む子ども家庭福祉行政に携わる職員等（心理職を含む） 【定員：80名程度】



特に、子ども家庭支援センター1, 2年目の職員にオススメ！
虐待通告が入った時、実際にどのように調査・訪問するか等、実践的な内容をメインとするカリキュラムです。（詳細は裏面参照）

会場は、受講決定通知にてご案内します。

【問合せ先】 特別区職員研修所 教務課 専門研修係
電話：03-5298-3923



カリキュラム



6月	時間	教科目	講師（敬称略）
24日 (木)	9:00 ～ 11:00	児童福祉行政（講義） 【目標】 ・児童福祉行政の基本的な役割を理解する。	日本社会事業大学 専門職大学院 教授 宮島 清
	12:00 ～ 17:00	通告ケースの初期対応 （講義・演習） 【目標】 ・通告ケースの初期対応やケースの家庭訪問時の準備方法について理解する。 ・演習を通じて、適切な対応方法を挙げる。	大田区 こども家庭部 子育て支援課 職員 葛飾区 子ども総合センター 子ども家庭支援課 職員
25日 (金)	9:00 ～ 12:00	要保護児童対策地域協議会 の運営（講義） 【目標】 ・要保護児童対策地域協議会の基本事項、役割、運営について理解する。	文京区 福祉部 生活福祉課 職員
	13:00 ～ 15:15	社会的養護（講義） 【目標】 ・社会的養護の概要を理解する。 ・社会的養護施設の現状と課題を理解する。	【児童養護施設職員】 児童養護施設 東京家庭学校 施設長 松田 雄年
15:30 ～ 17:00	【一時保護所職員】 江戸川区 子ども家庭部 一時保護課 職員		
計		2日間（14時間）	

